

楽友会通信 No.59

2014/12/17 指笛楽友会発行

♭ ♪♪♪♪♪♪ ♯ ♪♪♪♪♪♪ ♭ ♪♪♪♪♪♪ ♯ ♪♪♪♪♪♪

*** 目次 ***

	-頁-
1. 80周年記念「指笛音楽研究発表会」が開催されました ……	有吉憲行 - 1-
2. 指笛・発表会のプログラム(別紙) ……	有吉憲行 - 2-
3. 発表会アンケートより ……	斎藤秀元 - 3-
4. 指笛とMC ……	塩谷彰宏 - 8-
5. 指笛王国おきなわと指笛楽友会の絆 ……	垣花譲二 -10-
6. 事務局からのお知らせ・総会出欠は同封葉書にてお知らせ下さい	事務局 -12-

1. 80周年記念「指笛音楽研究発表会」が開催されました

有吉 憲行

練馬文化センター小ホールにおいて、11月1日(土)13時に開演された指笛音楽80周年記念「指笛音楽研究発表会」が無事に終了しました。

土曜日昼間の開催であったため、入場者は昨年とほぼ同じの350人程に達しました。

1934年(昭和9年)に田村先生が神田神保町のすずらん通りで指笛を吹き、街頭デビューされてから今年で80年となります。

今年も門下生をはじめ、田村大三先生の奥様や指笛創始者である田村大三先生の後継者である三女のメミグレースさんが参加されて、盛大に開催されました。

第一部の最初の出演者、有賀猛さんが「希望のささやき」と「岬めぐり」を見事に指笛演奏して下さいました。特に「岬めぐり」では会場のお客様に手拍子を頂戴して演奏しましたので、会場の雰囲気は和やかになりました。これで私達後続の出演者は緊張感がほぐれて演奏しやすくなりました。有難うございました。

この日のプログラム内容は別紙にあるとおりです。

<http://yubibue.net/tusin/scan-2014.pdf>

第二部では最初に沖縄から参加して下さいました垣花譲二さんが出演されて「紅葉」と「ローライ」を、最後には青森から参加された塩谷彰宏さんが「津軽海峡・冬景色」と「オーシャンゼリゼ」を演奏下さいました。

今回の特徴は二人による演奏があったことです。片山陽一・中村倫二さまのデュエットは第一部「花の街」、第二部「一晚中踊り明かそう」があったこと、更に第二部では竹中さまのパンフルートと奥津さまの指笛との共演「あざみの歌」があり、皆様方を楽しませて下さいました。

続いて「80周年」に想う では田村ファミリーの歌や指笛演奏などがありました。田村静海先生の歌、「波浮の港」、「さくら貝の歌」「蝶々夫人」が素晴らしかったです。

次にメミグレースさんが「山の人気者」を指笛演奏しながら登場して、ご挨拶なさいました。それから「スパニッシュ セレナーデ」と「雨のち晴レルヤ」を演奏されました。

お聴きになられたお客さまは感動されたようでした。アンコールの拍手が鳴り止まず。再登場されて「花は咲く」を歌と指笛演奏でお贈りいただきました。

最後に出演者全員で「上を向いて歩こう」と「故郷」を指笛演奏し、沢山の拍手を頂いて幕を閉じました。



2014.11.1(土) 発表会の最後に出演者全員で「上を向いて歩こう」と「故郷」を指笛演奏しました。

お客様はきっと充分にお楽しみになられ、満足されてお帰りになられたことと思います。今回の成功も田村ファミリーをはじめ、楽友会の皆様方と関係各位のご支援と御協力があったからこそと、お礼申し上げます。

2. 指笛・発表会のプログラム(添付別紙)

有吉 憲行

今回の「指笛音楽 80 周年記念 [指笛音楽研究発表会プログラム](#)」は別紙として、この楽友会通信に添付して同封されていますのでご覧ください。指笛のホームページ <http://yubibue.net/> の楽友会通信 59 号でもご覧になれます。

<http://yubibue.net/tusin/scan-2014.pdf>

3. 80周年記念指笛音楽研究発表会アンケートより

アンケート担当 齋藤 秀元

当日のアンケート用紙配布枚数は305枚、回収枚数71枚 回収率 23.3%

アンケートの内容は、「私たちは指笛音楽の普及と発展を目指しております。本日の演奏についてのご感想やご意見、ご提案などがございましたら、一言でも結構ですの下欄にお聞かせください。」という設問だけです。

まとめに当たって、厳密な分類はできませんが、回答の趣旨が「普及と発展」にとって参考になると思われるものについて、次の4項目に分けて列挙しました。①初めて指笛音楽を聴いた方の回答、②おなじみ・ファンの方の回答、③講評を主に述べている回答、④提案・要望を主に述べている回答です。

出演者個人の当日の演奏に対してのコメントは、この集計では大部分割愛させていただきました。

① 初めて指笛音楽を聴いた方の回答

- ・始めて聴かせていただきました。口笛とも違う、指だけできれいな音が出せるんですね。二重奏は伴奏なしの方が低音が良くわかるのではないかしら。なつかしのメロディーから、オペラまで楽しかったです。
- ・初めて指笛のコンサートに来ました。いやされた。
- ・初めての機会でしたが、感動しました。また多彩かつ高度なテクニックは驚きです。年齢にめげずチャレンジしたい気になりましたよ。
- ・このような演奏会は始めてです。(草笛はおなじみ) 高度な技術にただ驚くばかりです。いやしの音楽をありがとうございました。(エネルギーですばらしいです)
- ・初めて指笛を聞かせていただきました。とても素晴らしいし又感動いたしました。
- ・素晴らしい演奏をありがとうございました。選曲も良かったとおもいます。楽器を使わずきれいな音を出せるなんて感激いたしました。
- ・友人に誘われて始めて参加しました。大変きれいな指笛に感動しました。特に私も青森出身なので塩谷さんに大きいハクシュ
- ・指笛のコンサート初めて聴きました。すてきでした・ほっとするひとときでした。人間の声に負けない指笛の表現力おどろきでした。ありがとうございました。
- ・指笛初めて聞きました。感動しました。
- ・初めて指笛の演奏を聞きました。指笛がこんなに素晴らしいものだど知り心がはっきり暖かくなりました。

- ・指笛音楽を初めて生で聞きましたがとても皆さん一生懸命さが伝わり又指笛の透
明な音色に感動しました。友達に誘われてどんな会かと思ひながら来場しまし
たが良かったです。心の栄養になりました。有難うございました。
- ・指笛音楽は初めて拝聴させて頂きました。素晴らしい音色に感動いたしました。
- ・友達に誘われてきました。指笛研究会があるのを初めて知りました。来て良か
ったです。楽しい時間を過ごせて感謝です。メミ グレース先生、静海先生の声、
指笛さいこうでした。皆様の今後のご活躍をお祈りします。
- ・始めて指笛の生演奏を聞きました。音域の広さにビックリです。なんとも味わい
深い音色に魅了されました。1部と2部に指笛講習を交えて広がりをもてる構成
にしてもよいかと思います。
- ・指笛はじめて聞かせていただきました。楽器を使っているようにメロディーが出
て来ます。すばらしいと思いました。
- ・お年を召した方が多いように見受けられましたが、年齢を感じさせない素晴らしい
演奏でした。どの位精進されたのかと思います。ラジオ深夜便で音楽を聞くよう
に色々な思いが心の中をかけめぐりました。初めて聞いて感動しました。
- ・指笛は始めてで、素晴らしい演奏会ですばらしかったです。
- ・初めて演奏を聞かせて頂き、指だけでこんなに良い音が出るなんて驚きました。
有難うございました。
- ・初めて指笛音楽を聞いたがすばらしかった。
- ・単なる発表会でなく田村先生家族をまきこんで、とってもあたたかい楽しい会で
した。いっしょさせて頂きありがとうございます。すっかりとけこんでい
やされた思いです。来年も楽しみにしています。
- ・ホールいっぱいな音、びっくりしました。

上記約20名の回答を見てみるといずれも指笛音楽に対して肯定的です。これは指
笛は「大きい音」「うるさい音」などという固定概念が崩れ、「きれいな音色」「音域
が広い」「メロディーになる」といった意外性に驚き、そして感動に至るといったプ
ロセスを表していると思われまふ。初めて聴いてくださった方が、このように好感を
持ってくださいすることは、楽友会会員は日頃よく経験していることでしょう。

指笛音楽愛好者の裾野を広げていくに当たって、吹く場所等に配慮して行えば、多
くの方に受容されていく可能性を示しているように思われまふ。

② おなじみ・ファンの方の回答

- ・八十周年、心より御祝い申し上げます。大三先生ご自身の生演奏は聴けません、
皆様方の豊富な楽曲のすばらしい演奏を年一回聴くことができ幸せに思ひまふ。
メミさんの来日もとても嬉しいです。

- ・ 昨年は初めて聴きましたがとても感動しました。今年も癒されました。とても素晴しかったその一言です。日々練習されたと思います。お疲れ様でした。来年も楽しみにしています。
- ・ いずれも音楽性の高い指笛演奏に接し感動いたしました。
- ・ いつも楽しみに立川の方から来ています。とても美しいメロディーでした。口笛も草笛もありますが指笛最高です。他の楽器は不要です。
- ・ 会を重ねるごとに演奏の力を増していらっしやる。みな様に拍手です。今後も楽しみにしています。
- ・ クラシック、歌謡曲。民謡など様々なジャンルの曲目に驚きましたが、それぞれすばらしく、また演奏される皆さんの音色もそれぞれ個性的で素敵だと思いました。ありがとうございました。
- ・ 毎年聴かせて頂いていますが毎年のレベルアップに感激です。とても楽しい、有難うございました。益々のアップを楽しみにしています。
- ・ 大三先生が亡くなられてからも、このようなコンサートを続けていらっしやることに心から感謝、敬服しております。今日は静海先生の素晴らしい歌、泉さんのピアノ、恵さんの指笛と歌声を久しぶりにお聴きし、本当に嬉しく思いました。これからも楽しみにしております。
- ・ 出演されている方のレベルの高さに感動しました。どなたの演奏も音が合っていてリズムも流れるような吹き方もうっとりする程ステキです。選曲もレパートリーが広く、聴く人たちの年齢や好みに合わせているのかと思う程、しっとりした曲やリズムカルな曲、クラシック等本当に楽しい時間を過ごせました。
- ・ とっても個性があって指笛良かったです。皆さん日頃から練習されていらっしやるのが伝わってきて楽しませて頂きました。楽器を持っていなくても、どこでも演奏できるというのはとても良いなと思います。曲もいろいろなジャンルのものがあり、楽しく聞かせて頂きました。メミ グレースさんの圧倒的な音量と力強い指笛には去年もびっくりしましたが今年もびっくり致しました。すごい!! ありがとうございます。
- ・ おつかれ様でした。年々レベルアップしている様に感じました。とても良かったです。
- ・ 音のすばらしさに感激いたしました。選曲もすばしかったです。安定した音程と大きな音、日頃、相当練習されている事と思いました。
- ・ 毎年、年ごとに上達されていると感じます。一つ一つ心をこめて演奏されて感動をいただきました。
- ・ 素晴らしい演奏でした。道具がいらない自分の努力でこんなに美しい音を奏でる事できることに驚きました。もう少し若かったらやりたかったです。
- ・ 指笛が広い音楽の領域のなかで“指笛”という一つのジャンルとして確立されま

すように。人体が楽器であるという素晴らしさに感動しました。遠い学生時代、歌声運動はなやかなりし頃、集い、歌い、語り、議論した日々“よみがえれ”と若者達に切望します。

- ・皆さんの日頃の研鑽の成果良く出ていて大変良かったです。指笛の音は青春の音と思います。心がすっきりします。先生方はやはりすごい!!
- ・皆さんが会場の人達をどんなにかいやしたことか、日常のいやなことをすっかり忘れ明日はがんばろうと思いました。曲も知ってる曲ばかりで嬉しかったです。指笛を吹いている姿がきれいです。さぞ天国で田村先生が大喜びでしょう。メミグレースさんとかくすばらしい。胸がスーッとしました。

おなじみの方になると出演者の演奏の上達ぶりや演奏曲目の広がりや評価したりなど、指笛演奏の音楽性の向上を指摘してくださったりもします。安心して聴けるようになった、癒される、感動する、そして一人ひとりの指笛音楽が個性的であることが話題になったりもします。指笛演奏は指一本だけで奏でるわけではありません。

口と指を含めたからだ全体とハートで演奏していることが個性をかもし出していると思うのですが。気に入られる、好かれる、愛される個性的演奏はどのように演じたらよいのでしょうか。

③ 講評を主に述べている回答

- ・指笛素敵です。但し実力にあった曲を選んだ方がよいかと。
- ・日頃の練習の成果がよくわかる素晴らしい発表会でした。ピアノの他にパンフルート等も加わると厚みがでますね。田村様のオペラ蝶々夫人もすばらしい!!
高齢者に元気を与えてくれる。
- ・全体にレベルが上がり、この一年間皆様それぞれのご精進が伺えました。お一人二曲ずつ、吹き分けに変化があり、聴いていて楽しかったです。二重奏でプログラムに変化が出てよかったと思いました。どなたもお元気で、体調を整えて、来年もご出演できますように。
- ・指笛の特性か流れるような曲のためか、ブレスの長い、流れるなめらかなもの一クラシック、唱歌また源流である賛美歌が合うと思います。発祥の原点を大切にしてください。デュエット、コーラスなどのレパートリーを増やされてはおもしろいと思います。幅、奥行きが広がります。また年配の方がなさり、演奏を聞かれることがほとんどでしょうか。発展のため若い世代にアピール、開拓を試みては、ロックは難しいでしょうが発声、音とり、呼吸法—ダイナミックな音量の開発、…
- ・沖縄三線製作職人で構成する三線組合の手伝いをしています。天気が悪い中、これだけの集客をされた事は素晴らしいですね。皆様の尽力によって根強いファンを

獲得された証で、見習う点とと思っています。普及と発展は組合にとってもテーマです。表面を活字で伝えるだけでなく、実演会等で中身を伝えていく事も大事ですね。三線もお蔭様で楽器としては異例の伝統工芸品の指定を頂きました。指笛も三線も益々の発展をお祈りいたします。本日は素晴らしい演奏ありがとうございました。

- ・ なつかしい色々な曲があっただけあってあきさせません。良い企画プログラムでした。ギターなどの楽器が入るとなお良いと思います。
- ・ 若い感覚がソロ感覚で無く合奏の一部として、演奏出来たらいいなあー（楽器の一部）と思いました。指笛の可能性、アカデミックであっても良し、シャンソン、演歌、唱歌、オペラでも良し、それぞれの背景があると思う。声と一緒に体で表現する音楽、ただ二重奏になるとやっぱり指？者が必要かと思う。

④ 提案、要望をしている回答

- ・ ハーモニカとの共演はいかがでしょうか。
- ・ 指笛音楽は個性が出せて素晴らしいと思います。デュエットがよかったです。アンサンブルもとり入れた発表会にさせていただけたらもっと楽しめると思いました。
- ・ 小・中学生にも伝えてください。楽器を使わずにも一人で音楽を楽しめることは不安定な心の子供には、慰めと励ましになるのではないのでしょうか。
- ・ 発表会の中で指笛についての講話があってもよいですね。
- ・ こども対象の教室、育成の強化をされていろいろな意味での発展、人材、理解者、協力者、後継者（育成）。インターネット、動画、ユーチューブの活用をどんどんする。

③と④についてはたいへん示唆に富んだご指摘をいただきました。役員会ははじめ会員の中で話し合い活動の中に組み入れて頂ければ幸いです。

これからの指笛音楽研究発表会のあり方がどうあったらよいのか、検討する必要があると思います。ご来場くださるお客様はオーソドックスな一人ずつの発表会だけではなく、いろいろな形態での指笛演奏を含めた発表会も聴いてみたいと思われているように思います。遠隔地から集まる集団ですから難しさもありますが、少しずつ変化をつけてみてはいかがでしょうか。

4. 指笛とMC

青森県 塩谷 彰宏

以前、私は谷村新司のコンサートに行ったことがある。谷村さんはもちろん「歌」はうまいが、「トーク」がまた絶妙である。「トーク」がうまいので、次の曲にスムーズにつながっていく。そして、「谷村新司の世界」に引き込まれ、あっという間に時間が過ぎていく。

現在、私も一回30分の指笛コンサートを毎月3回やっている。そのうち2回は青森県観光物産館(アスパム)の金魚ねぶたでカラフルに飾られたミニステージである。



(左の写真)

ここは、お土産を買いに訪れたお客様や、全国からお出でになった観光客の皆さん、たまに外国の方々の姿も見られる場所である。

このコンサートは、退職してから直ぐ始めたので、200回を超えた。

もうひとつは「極楽湯」での演奏である。お風呂に入って、食事をしたり、休んだりしている老若男女が対象である。

また、コンサートではないが、幼稚園、保育園、小・中学校、ユネスコ活動関係のイベント、うたごえ喫茶などで、指笛演奏とレクリエーション等をミックスした依頼や高齢者対象のイベント、市町村主催のイベント、研修会・講演の講師としての依頼がある。

合わせると年間、何十回かのステージに立っている。1時間30分の依頼が多いが、1時間のものもあり、中には午前・午後・夜を一人で担当することもある。

そして、これらの指導・支援の運び方にも共通するものがある。毎回思うのは“MCがうまくなりたい”である。

「大辞泉」によるとMCとは《 master of ceremonies 》司会者、進行係、式場係

また、転じて、コンサートなどで、曲と曲の間での演奏者のおしゃべりである。

「指笛演奏」と「指笛演奏」の合間に「ちょっと笑いを誘うようなトーク」や、「ちょっとウイットの効いたトーク」を入れたり、「肩たたき」「指まわし」など簡単な健康体操等の動きが入ると、さらに観客をひきつけることができることを体験している。

(下の写真)



「MC」上達のために、青森放送主催の「アナウンスセミナー」の基礎科・専攻科（毎回2時間、計30回）も受講した。この講習会はとても参考になり、得るところが多かった。

でもやはり、常にTPO《time, place, occasion》（時と所と場合）が変化するので、可能な限りの方法で、いろいろな情報を入手しながら“実践の中で学んでいく”しかないと思う。

今後も、私は向上心を持ち続け、指笛の練習とともに「MC」の技を磨いていきたい。そして、いつの日か、冒頭に述べた谷村新司のように観客を魅了するステージを展開したいと思っている。

5. 指笛王国おきなわ と 指笛楽友会の絆

沖縄県 垣花 譲二

小学校高学年のころ、遊びの中で指笛を吹き鳴らす上級生に憧れ、教えを乞い、私もほどなく吹けるようになりました。成長するにつれて、生活の色々な場面で、合図、歌や踊りの囃子（はやし。沖縄の方言で「ヘーシ」）としてエイサーやカチャーシーの時などに吹き鳴らされる指笛に接してきました。指笛が日常の生活の中で活用されている地域は、鹿児島以南の「琉球文化圏」と言われるところであることも分かりました。

そのうち甲子園球場のアルプススタンドの沖縄の応援で吹き鳴らされる指笛の音色が、テレビ、ラジオを通じて全国に伝えられ、さらに沖縄の歌や踊り芸能などへの関心が全国的に高まり、紹介されました。それらを通じて「指笛といえば沖縄」と国民の間でも認識されるようになったのではないのでしょうか。沖縄県民にとって、指笛は現在も身近にあり「指笛は沖縄の大切な文化のひとつ」です。

とは言え、実際に指笛が吹ける県民は意外と少ないことに気づいた私は、このままでは沖縄の指笛文化はすたれてしまうと危機感を抱き、10年ほど前に指笛の継承、普及、発展などを目指す組織づくり（後の「指笛王国おきなわ」の建国）を考えました。

ちょうどそのころ、インターネットを始めましたので、試しに「指笛」と検索してみても驚きました。なんと、ネット上では、沖縄の指笛に関する情報はほとんどなく、指笛による音楽演奏に関連する情報が氾濫していたのです。当時、私をはじめほとんどの県民は「指笛で音楽が演奏できる」という認識が全くなかったからです。

私は早速ネットを通じて知り合った指笛楽友会の吉田重雄さん（故人）と連絡を取り、2004年に上京した折、横浜でお会いして手ほどきを受けました。私が少年のころ習った指笛の吹き方と指笛楽友会の皆さんの吹き方が同じだったのは幸いでした。

吉田さんは「歌をうたうように吹く練習をすれば、自然とメロディーになる。頑張ってください」と期待を込めて励まして下さいました。

熱い思いを胸に2005年4月、指笛王国建国の準備のための集いを開いたところ予想をはるかに超える80人が参加しました。その8割は指笛が全くできない皆さんで、指笛への関心の高さを示すものでした。その集いで指笛楽友会の70周年記念研究発表会のビデオを観賞し、新たな発見をし、感動した思いを胸に抱きながら準備を進め、7月10日に「指笛王国おきなわ」の建国総会と「楽しい指笛の世界」を開催しました。

吉田さんは沖縄まで来て、建国を祝い、私たちが初めて目にするナマの指笛演奏を200人の観客の前で披露しました。

同年8月27日には、所用で上京した機会に、吉田さんに連れられて田村大三先生のお宅を訪ね、ご夫妻の歓迎を受けました。車椅子で生活されていた大三先生は、私の両手を握りながら激励してくださいました。当日は楽友会の定例練習日でもあったことから、私も静海先生のピアノ伴奏で「故郷」を練習しました。その日の感激はいつまでも忘れることはないでしょう。

発足した指笛王国おきなわは、指笛の普及のための初心者への指笛指導と、吹ける人への指笛演奏の指導の二つを柱に毎月2回の定例練習日を設けて活動を続け、今日に至っています。今年（2014年）9月の「第10回楽しい指笛の世界～東日本大震災復興支援コンサートVol.5」では、19人（うち女性6人）のメンバーが演奏に参加し、満席（300席）のお客様に喜んでいただきました。復興支援金の累計は36万円余となり、指笛で被災地に元気を届けています。

私は、指笛音楽80周年記念研究発表会に4年ぶりに参加し、3度目の出演をさせていただきました。初出演は、75周年記念の時でした。当時は大三先生もお元気な姿で参加されていました。76周年記念発表会にも出演しましたが、そのときは大三先生の大きな遺影が舞台の上手に飾られているなかで、追悼の念をこめて演奏しました。

今回、80周年の私の演奏は、練習不足が影響し、2曲目の最後は音がかすれ、出なくなる場面があり、深く反省しました。他の皆様の演奏技量は4年前に比べて格段に上達していました。楽屋での交流や、出番を待つ舞台の袖での対話などを通じて学ぶ点が多くありました。それを教訓に練習を積み重ね、次の機会には、少しでも「上達したね」と言われるように努力する覚悟です。

先に述べたように、指笛王国おきなわは建国準備段階から指笛楽友会と強い絆で結ばれてきました。「第4回楽しい指笛の世界に」中村倫二さんと吉田さんが、「第8回」にはメミグレースさんが特別出演され、交流も深めました。これらの機会を通じて指笛王国のメンバーは向上心を刺激され、高い目標を抱き、一段と努力するようになりました。

78周年記念発表会からは指笛王国の他のメンバーも会場へ足を運び、優れた演奏を目の当たりにし、練習への新たな意欲を高めています。今回は松本京子名古屋支部長が発表会終了後の懇親会にも参加して感動し、熱い炎を燃やしていました。今後も様々な形で楽友会の皆様との友好・交流を発展させていきたいと思えます。

指笛王国おきなわは、2015年7月で建国10周年となります。節目を契機に、新たな夢と希望と目標を掲げ、力を合わせて努力を重ねます。また、指笛楽友会の会員は、沖縄では現在私一人ですので、沖縄の会員を増やすよう今後働きかけていきます。

6. 事務局からのお知らせ

楽友会 事務局

(1) ご寄付を頂いた方々

今回の発表会に、下記の方々より貴重なご寄付をいただきました。

中村 洋美様、石原 泉様、メミグレース様、斎藤 秀元様、田代 順一様、東 駒子様、
間所 ひさこ様、森 花子様 いつもご協力、ご支援ありがとうございます。

(2) 総会・新年会のご案内

期日：2015年(平成27年)1月12日(月)成人の日

会場：大泉学園駅南口 徒歩5分 Uスタジオ

▽ 案内図 ▽

住所：東京都練馬区東大泉 6-34-28

陵雲閣マンションB107 半地下1階右奥

TEL/FAX 03-3924-6455

時間：10:00～12:00 役員会
及び新年会準備

時間：13:00～16:00 総会と新年会を
開催します。

会費：4,000円(予定)

出欠の連絡及び委任状：楽友会会員
は同封の葉書にて出欠を、なお欠席する
場合は委任する旨を、12月28日(日)
迄に斎藤会長宛にお知らせ下さい。



(3) 2015年 81周年記念「指笛音楽研究発表会」のご案内

来年2015年の発表会は9月19日(土)開場12:30 練馬文化センター(小ホール)にて開演13:00が予定されています。皆様のご参加、大勢の方々のご来場をお待ちしています。

* 編集後記 (有吉憲行)

この楽友会通信59号は指笛音楽80周年記念 田村大三門下生による「指笛音楽研究発表会」の特集号となりました。皆様方のご協力により予定通り12月に発行できて感謝します。

斎藤会長にはお忙しい中、アンケートをまとめて頂きお礼申し上げます。

塩谷様には指笛に関する体験談、話術技を磨くなどのお話を寄稿して頂きました。とても有益で参考になるお話を有難うございました。

垣花様にも投稿して頂きました。沖縄での指笛普及に活動されていて、その熱意で楽友会との絆がますます深まるようです。感謝いたします。

今回楽友会の皆様方、関係各位の一致協力により、80周年記念「指笛音楽研究発表会」が無事に終了できたことは喜ばしいことです。これからも皆で協力して、より良い指笛楽友会へと発展させましょう。